

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	○	△	△	○
水痘（水ぼうそう）	×	△	○	◎
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	×	×	×
手足口病	×	○	△	×
ヘルパンギーナ	★	★	★	★
咽頭結膜熱	○	×	△	◎
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	×	×	×	×
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	○	×	×	×

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

今月の気になる病気

ヘルパンギーナ

とにかくのどが痛い！

ヘルパンギーナにかかると、突然39度前後の高熱が出て、のどの奥に小さな水疱が数個～数十個できます。のどが腫れて痛みますが、2～3日して水疱がつぶれると、さらにのどの痛みが強まります。赤ちゃんは症状をうまく伝えられませんが、機嫌が悪くなり、食欲が低下し、唾液を飲み込むのがつらいため、よだれが多くなることでしょう。せきや鼻水などの症状は一般的にありません。熱は2～3日、水疱も1週間ほどで治ります。手足口病と混同されがちですが、手足口病では手のひらや足の裏、口の中などに発疹が出るのに対して、ヘルパンギーナはのどや上あごに水疱ができる傾向があります。

合併症に注意！

合併症として、熱性けいれんを伴うことがあります。ごくまれに髄膜炎を合併することがあるので発熱以外に嘔吐を何度も繰り返したり、頭痛があるようなときには注意が必要です。

ヘルパンギーナにかかる原因と感染経路

ヘルパンギーナの主な感染経路はくしゃみやせきなどによる飛沫感染と便に排泄されたウイルスによる経口感染です。乳幼児の集団生活などで感染することがあります。

口の中が痛くなるので、次の食べ物や飲み物に注意して与えましょう。

<避けたほうがいいもの>

<与えてもいいもの>

・熱いもの・酸っぱいもの・刺激の強いもの

・薄味のもの・やわらかいもの・のどごしのいいもの



